



園部 増治 議員

市長公約の実現について

問 針谷市長においては、市長就任から1年になる。選挙戦では合併時の新市建設計画を着実に実行していくことを訴えたが、これが多くの市民の共感と呼んだのではなかろうかと思う。1年を振り返っての感想と新市建設計画の中で文化交流拠点として位置付けられている「古河駅東部土地区画整理事業」と「新駅の設置」に向けた取り組みについて伺う。

提灯竿もみまつりで挨拶する
大井川知事

答（市長） 市民の皆さまのご意見を伺いながら1つずつ実現することで、その成果を実感していただけるよう最大限努めていきたい。

答（企画政策部長） 今年度、新駅設置に関する基礎調査について9月にジェイアール東日本コンサルタンツ株式会社と締結し、現況調査等を行っている。

答（都市建設部長） 古河駅東部土地区画整理事業について、都市計画道路西牛谷辺見線を来年

度末までに国道125号から旭町今泉線間の暫定2車線での開通を目指し、工事を進めている。

教育環境整備について

問 学校周囲の整備や草花の植栽などの環境整備は、児童生徒の情操教育にもなり教育的効果も大きい。インフラ整備も含めた今後の取り組みについて伺う。

答（教育部長） 大規模な改修を必要とする場合は、教育委員会で年次計画を立て、重要度、緊急度の高い施設から整備していく方法をとっている。植栽や花壇の整備は、県や広域財団等が主催する緑の募金交付金等により、支援を受けながら各学校で整備している。



落合 康之 議員

企業誘致について

問 ①この1年間にトップセールスを行った会社数とその結果、②地域経済の活性化、地元雇用の創出結果、③定住促進に向けた環境は整ったのか。

答（市長） ①企業へのセールスは行ったが、具体的な数や結果は、交渉事のため差し控えたい。③子育て世帯定住促進奨励金を3年間延長した。環境とは、市政全般の底上げを図るものであ

り、今後も古河市の魅力が増すよう努力していきたい。

答（産業部長） ②市の常住人口が、平成28年度は289人の社会増に転じており、また古河職業安定所の有効求人倍率は、前年と比べ0.3ポイント程度高い状況が続いている。

待機児童の解消について

問 この年間の取り組みと待機児童数の推移を示してほしい。

答（市長） 上辺見保育所の移転建てかえにより利用定員規模を120人から180人まで拡大した。

答（健康福祉部長） 待機児童数の推移については、各年度4月1日現在で、27年度は8名、28年度は41名、29年度は38名で

ある。



古河市立第四保育所

医療体制について

問 救急医療、小児科、周産期医療体制の強化について。①この一年間どのように取り組んできたのか。②その結果について。

答（健康福祉部長） ①今年度、市内医療機関へ病院輪番制事業や私的二次救急医療機関補助金など予算計上した。②市内医療機関では若干だが医師の増員が図られている。